ボーリング柱状図

調　査　名　一級河川太田川水系根谷川支川10

ボーリングNo

事業・工事名　通常砂防事業に伴う業務委託

シートNo

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島市安佐北区可部町　上町屋（No.0+10,R30）			北緯	34° 33’ 04.1711”
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成 29年 1月 24日 ～ 29年 1月 29日	東経	132° 31’ 57.0764”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	120.47m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 39°	使用機種	試錐機	YBM　YBM-05DA	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	12.00m								エンジン	ヤンマー　NFD-10	ポンプ	YBM　GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	118.77	1.70	1.70		礫混じり砂	暗褐	緩い		φ2-10mmの亜角礫を10%未満混入。基質はシルト質細～中砂主体。	
	118.47	0.30	2.00		玉石	灰	密な		L=4-14cmの玉石主体。	
2	118.02	0.45	2.45		礫混じり砂	褐			細礫を混入するシルト混じりの細～中砂主体。	
3										
4										
5					礫混り砂	淡褐灰	中ぐらい		φ10-50mmの亜円礫を局所的に混入。ほぼ均質な中～極粗砂主体。含水高い。	1/27 4.62
6										
7	112.77	5.25	7.70							
8	110.87	1.90	9.60		砂礫	灰	非常に密な		φ10-50mmの亜円礫を60-70%混入。基質はシルト質極粗砂～細礫を主体。	
9										
10	110.32	0.55	10.15		玉石	灰	非常に密な		L=7.5-19cmの玉石主体。基質は極粗砂。	
	109.97	0.35	10.50		礫混り砂	褐灰	密な		礫をわずかに混入する中～極粗砂。	
11					花崗岩・軟岩	淡褐灰	非常に密な		岩石組織は認められるが風化変質が進行し軟質化。採取試料は粗粒の固結マサ状を呈す。DM～DH級。	
12	108.47	1.50	12.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1	2	2	5／30	5
2.45					
3.15	4	6	7	17／30	17
3.45					
4.15	6	7	9	22／30	22
4.45					
5.15	5	6	8	19／30	19
5.45					
6.15	4	5	4	13／30	13
6.45					
7.15	5	8	7	20／30	20
7.45					
8.00	11	18	21／6	50／26	58
8.26					
9.00	12	19	19／3	50／23	65
9.23					
10.25	21	29／6		50／16	94
10.41					
11.00	23	27／4		50／14	107
11.14					
12.00	50／9			50／9	167
12.09					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						1/25
						1/26
						1/27
						1/28